



■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 來間 久
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
4月25日	ホテルほり江 18:30~	夜間例会
5月2日	休会	
5月9日	会員 安食 賢	新会員スピーチ
5月16日	地区クラブ活性化ワークショップ出席者	地区クラブ活性化ワークショップ報告
5月23日	元出雲市教育委員 金築 千晴 様	

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	29	9 (5)	87.88

■欠席者 ■

荒木・原伸・木村・石原(黒田/牧野/釜屋/福田/持田)

■来訪者 ■

山根・石田・川上・浅津(出雲南) 岡(出雲中央)

■メイクアップ ■

なし

■次回例会受付当番 ■

(5月9日) 飯塚洋道/小汀泰之/大島淳司

(5月16日) 園 敬司/大島卓司/大谷良治

■近隣クラブ例会情報(メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央 6/1 6/24(-)	松江南
火	出雲 4/30(-)	松江しんじ湖 4/30 5/7
水	大社 5/8・22 5/1・29(-)	松江 5/1・29(-)
木	(-) ; ビジター受付なし	松江東 5/2・9(-)
金	出雲南 5/17 5/31(-)	

■会長挨拶 ■

本日は、夜間例会にお集まりいただきありがとうございます。

本日の例会は、2月23日に行われました平田 RC 創立50周年記念式典、記念講演会を今一度振り返り労をねぎらうために夜間例会とさせていただきます。

先週の挨拶でも申しましたが、平田の周年は非常に素晴らしいものであったと思います。

これも全会員の周年成功という明確な目標に向かっての結束力の賜物だと思います。本当にありがとうございました。様々な映像も準備しております。当日見られなかった方はしっかりと見て、楽しんでいただきたいと思います。

目標を持つことは非常に大切なことです。個人やチームのモチベーションを高める重要な要素です。モチベーションの向上は、パフォーマンスや成果を向上させる効果があります。

今回、平田 RC は目標を達成したと言えると思います。

私の好きなスポーツ選手に、今も目標に向かって挑み続けている選手がいます。その選手の生きざまがものすごくカッコイイので少しご紹介させていただきます。

名前は、三浦和良選手です。ご承知だと思いますが Jリーグ開幕以来、今だに現役のプロサッカー選手です。たまたまですが、年は同じ57歳です。この年で現役のアスリートであることは信じられません。

三浦選手は、サッカー王国の静岡県出身で、1967年2月26日に納谷宣雄、由子夫妻の次男として生まれました。長男の泰年氏も Jリーガーとして活躍されました。小学校4年生のときに両親が離婚をし、母方の三浦姓になりました。

1982年に名門の静岡学園高校を8か月で中退し単身ブラジルに渡っています。CA ジュベントスというチームに所属しました。当時の三浦は身長が低く、テクニックはもっていたものの他に一流と呼べるような強みはなく、指導者たちはブラジルでプロのサッカー選手になるのは無理だと考えていました。1985年頃に目標をあきらめて日本に帰国することも一時考えていました。しかしあることがきっかけとなり、考え直しブラジルでの下積みを継続しました。それは、ふと寄ったリオの公園で現地の貧しい少年達がサッカーしている様子を見かけたことが、帰国を思い止まるきっかけになったようです。三浦いわく、その少年達の中には裸足の子や片足のない子もあり、ボールも古く汚いものだったが、皆楽しそうにボールを追っており、その様子を見て「自分には両足も、スパイクも、いいボールもある。何を俺は贅沢なことを言ってるんだ」と思い帰国を思いとどまったそうです。そこから努力に努力を重ね、ついには1986年にサントス FC と自身初のプロ契約を結んでいます。ただ、目標は叶ったが試合に出ないのは意味がありませんでした。サントスには同じポジションに名選手がいたため出場機会に恵まれず、SE マツバラに移籍しました。そこで見事レギュラーを勝ち取り活躍しました。そのうち、幾多のクラブで活躍、そして日本人で初めてブラジル全国選手権への出場を果たしています。また、1990年に4年ぶりに古巣のサントス FC に復帰。一度サントスでのレギュラー争いに負けてマツバラに移籍して以来、もう一度サントスでプレーをして自分の力を証明したいと思っていたこともあり、多数のチームからの移籍の誘いを断り、サントスと契約をしました。そして見事今度はレギュラーの地位を勝ち取りました4月29日のパルメイラス戦で活躍し、翌日のブラジルの新聞は、スポーツ紙、一般紙を問わず三浦の活躍を伝え、この試合の三浦のゴールシーンはブラジルのサッカー専門誌「プラカー」の表紙を飾りました。努力で目標を達成し、サッカー王国ブラジルで押しも押されぬ選手に成長していきました。当時、現地で三浦知良を見た人がいます。

1990年7月に Jリーグ発足が現実味を増す中、日本代表として W 杯出場獲得に貢献するため日本でプレーすることを決断し帰国しました。そして Jリーグ元年の1993年にヴェルディ川崎で活躍し、第1回の MVP を受賞しています。1994年にはアジア人初のセリエ A プレーヤーにもなりました。その後もたくさんの国でプレーをしています。

日本代表(フル代表)デビューは1990年9月で、当然エースストライカーとして大活躍を見せています。1993年 W 杯アメリカ大会予選では、予選9ゴール、最終予選4ゴールを挙げ、エースとして大活躍しました。日本はそれまで、W 杯の出場はおろか、最終予選での勝利もありません。この年の最終予選、北朝鮮戦で2ゴールを決めて、最終予選初勝利に貢献、続く韓国戦でも決勝ゴールを決めて、ワールドカップ地区予選で初めて韓国に勝ちました。しかし、最終予選の最終戦、勝てば W 杯初出場が決まるイラク戦(ドーハの悲劇)ロスタイムで同点に追いつかれ出場はなりませんでした。

その次の大会、フランス W 杯に日本は最終予選を勝ち抜き念願の本戦初

出場を叶えますが、三浦知良は最終選考で落とされています。結果、日本はそれ以降ずっと連続出場していますが、三浦選手はワールドカップには一度も出場していません。日本のサッカーを引っ張ってきた第一人者が夢の大舞台に立てないこの事実。歴史の綾の不思議さに思えます。

しかし、三浦選手は今でも現役です。目標は今でも選手として W 杯に出場することだと言っています。彼はあきらめていないのです。可能性は限りなく低いですが目標に向かい努力を続けています。そんなくじけない彼の姿に、私は心を打たれます。

仕事においても、ロータリーにおいても、目標に向かって努力をすることの大切さは同じであると思います。今後のロータリーにおいては、来年の IM の成功、それぞれの委員会事業の成功、これらに向け努力を続けていきましょう。

今年度の目標である、50 周年成功の目標は達成されました。今日は、おおいに美味しいお酒を飲んで、楽しみましょう。宜しくお願いします。

■ ■ ■ 幹事報告 ■ ■ ■

1. 出雲ロータリークラブ会長 森山宗浦様、創立 70 周年実行委員長 遠藤 充子様より創立 70 周年記念式典出席のお礼状をいただきました。
2. 釜屋治男会員・福田磨寿穂会員入院加療のためお見舞いをさしあげました。

■ ■ ■ 委員会報告 ■ ■ ■

プログラム委員会 : 5・6 月プログラム予定表配布

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

清原・松浦 (平田 RC50 周年大変お世話になりました。)

大島卓 (50 周年の関係の皆さんご苦労さまでした。)

小汀 (50 周年式典等皆様お疲れ様でした。私達のチームワークが示されたすばらしいものでした。これからもロータリーをしっかりと楽しみましょう。)

飯塚大 (50 周年誠に有難うございました。)

太田 (50 周年記念式典では皆さんいろいろお世話になりました。おかげさまで良い式典となり喜んでます。)

杉原 (平田 RC50 周年皆様お疲れ様でした。)

來間 (4/23(金)おとしのことですが次年度理事役員会を開催いたしました。ご報告致します。参加いただきました皆様ありがとうございます。そして理事役員の皆様どうぞよろしくお願い致します。本日 50 th 慰労会楽しみます！)

土江 (平田 RC 創立 50 周年記念式典と記念事業では大変お世話になりました。少し間があきましたが、今夜は皆様と労をねぎらいたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。)

神田 (今夜は平田高校 PTA 役員会と例会がかさなり、間に合いそうございません。終了し次第に参上いたしますので何卒ご容赦下さいませ。)

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

